

平成26年度

次世代育成基金活用事業 実施報告書



次世代育成基金へのご寄附ありがとうございました。

平成26年度は、多くの皆さんにご支援いただき、188名の子どもたちが次世代育成基金を活用した事業に参加し、自分たちの夢に向かって、健やかに育っています。次世代育成基金は、これからも一人でも多くの子どもたちの夢をそだてられるように、皆さんとともに、この基金を大きく育てていきたいと考えています。

次世代育成基金の趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年度次世代育成基金活用事業 事業一覧

活用事業名		対象児童・生徒	規模	参加人数	基金活用額	
小	国内子ども交流会	名寄市	小学校4～6年生	3泊4日×2回	25人	2,365千円
		東吾妻町	小学校4～6年生	2泊3日	25人	307千円
小	小学生名寄自然体験交流	小学校5・6年生	2泊3日	25人	1,010千円	
中	交流自治体中学生親善野球大会	中学生	3泊4日	30人	630千円	
小中	チャレンジ・アスリート	小学校5・6年生、 中学生	4日	28人	1,650千円	
中	中学生海外留学	中学2・3年生	12泊13日	25人	5,434千円	
中	中学生小笠原自然体験交流	中学生	6泊7日	30人	2,011千円	

※平成26年度に実施したこれらの事業は、各事業費総額のうち、子どもの参加に係る費用の2分の1に相当する額について基金を活用し、その他の費用は区の一般会計から支出しました。

国内子ども交流会(名寄編)

実施期間

名寄編/平成26年7月28日(月)～31日(木)

杉並編/平成26年8月5日(火)～8日(金)

小

■事業目的

杉並区と名寄市との友好都市交流事業の一環として子ども同士の交流を図り、互いの生活文化を理解し合い、また、家族と離れる経験により、子どもたちの精神的自立のきっかけを提供し、自分で考える力を身につける一助とする。

※杉並区と風連町(平成18年名寄市と合併)は平成元年7月「友好協定」を結び、以来、文化・経済での交流を続けています。平成3年度から杉並の中学生が風連町を訪れる「しばれ体験」を開始し、平成8年から夏休みに相互の小学生が訪問する現在のような形式の交流会を続けています。平成24年度より参加の機会を広げるために、次世代育成基金を活用して参加者の負担をなくしています。

■事業概要

- 名寄編:7/28(月)～31(木) なよろ市 天文台、ピヤシリジャンプ台など
- 杉並編:8/5(火)～8/8(金) 阿佐ヶ谷 七夕祭り見学、東京スカイツリー見学など

子どもの感想

- ★参加する前は、友達を作ることに緊張していました。今は、人はやさしいんだと分かって緊張しなくなりました。色んな体験ができて思い出になりました。もし将来子どもができれば、この交流会に参加させたいです。
- ★不安そうにしている子に声をかけることができるようになり、自分が変わったと実感しました。前の私だったらそんなことはできなかったと思います。
- ★ピヤシリジャンプ台は予想よりはるかに高く、ほんの少し怖かったけどスリルがあって楽しかった。
- ★名寄の良いところを知れたり、名寄に友達がいっぱい作れて、もう一度北海道に行ってみたいと思うようになった。



旭山動物園



利雪施設

保護者の声

★見た目や態度からはわかりませんが、彼の心の中にはきっととても素晴らしい思い出となって残っていると思います。

★お別れセレモニーでの上映会がとっても感動しました。涙をこらえるのに必死でした。

★団体行動の中で、自己主張の程度、我慢なども身体で感じてくれたかなと思います。

★大学生になったら、ボランティアでこういう企画に参加したいと言っていました。

★ボランティアスタッフの方に荷物を持とうか?と聞かれて「自分で持つから大丈夫」とこたえ、親元を離れ、なんでも皆で決めて、自分で責任を持って行こうという学びを得たように思います。

★親元を遠く離れて3泊4日は、祖父母の家以外は初めて。お布団の中で涙ぐむことがあったと話してくれました。

国内子ども交流会(東吾妻編)

小

実施期間:平成26年8月18日(月)~20日(水)

■事業目的

杉並区と東吾妻町との友好都市交流事業の一環として子ども同士の交流を図り、互いの生活文化を理解し合い、また、家族と離れる経験により、子どもたちの精神的自立のきっかけを提供し、自分で考える力を身につける一助とする。

※杉並区と東吾妻町は平成元年8月「友好協定」を結び、以来、文化・経済での交流を続けています。平成2年度から小学生の交流会を始め、一年ごとの交互訪問方式となっています。平成24年度より参加の機会を広げるために、次世代育成基金を活用して参加者の負担をなくしています。

■事業概要

●平成26年度は、東吾妻町で実施

8/18(月)~20(水)、鱒つかみ、箱島湧水見学、キャンプファイヤー、ハッ場トンネル見学など。

子どもの感想

- ★初めは恥ずかしかったけど、次第に誰でも話せるようになって、今は堂々とした感じになったので、恥ずかしいという気持ちがなくなりました。
- ★ぐんま天文台で見た星空は、東京とは違い澄んでいて、きれいな星をたくさん見ることができました。
- ★鱒つかみで鱒がヌルヌルしてすごく震えていましたが、食べたらおいしくて2匹食べました。
- ★キャンプファイヤーでみんなで楽しく遊びました。みんなと遊んだことで、すこしみんなの心が一つになったんじゃないかと思いました。
- ★吾妻川の橋梁を歩けたことが、線路を歩いたことがなかったので、とてもうれしかった!



鱒のつかみどり



吾妻で全員集合

保護者の声

- ★緊張の面持ちで出発していった姿と帰ってきてからの第一声「楽しかったよ〜!」が強く心に残っています。
- ★親離れの一步をきちんと良い大人たちの力を借りてできたと思います。家庭以外、学校以外で自分に責任を持って寝起きができ、荷物をつくり、成長を感じました。
- ★実際に行くまでは消極的でしたが、区内の別の学校のお友達や東吾妻のお友だちと仲良く交流できたことが、大変楽しかったようです。
- ★違った環境の子ども達との交流体験は、心を豊かにした様子です。
- ★一人での旅はもちろん、普段の友人もいない中、本人の強い希望で送りだしましたが、参加できてよかったです。今すぐにどうということはないけど、長い将来にわたり、自信にもなり、良い思い出になったと思います。

小学生名寄自然体験交流事業

小

実施期間:平成26年12月26日(金)~28日(日)

■事業目的

杉並区の交流都市である北海道名寄市に児童を派遣することで豊かで厳しい自然に触れるとともに、国内最大級の望遠鏡の観測等の体験や、地元の子供達との交流を通じて、児童の科学への知的好奇心や探究心、豊かな人間性を育む。派遣後は、学習成果を作文と壁新聞等の作品として作成し、児童自らが発表することで、自分の考えを表現する力も育成する。



カーリング体験

■事業概要

- 11/4(火):第1回事前学習会、結団式
- 11/30(日):第2回事前学習会、インターネット交流
- 12/14(日):第3回事前学習会、
- 12/26(金)~28(日):名寄市での自然交流会(2泊3日)
- 1/16(金):学習相談会
- 2/8(日):学習成果発表会(インターネットで名寄市へ中継)



名寄の児童と

子どもの感想

- ★自然の豊かさと厳しさを感じることができました。杉並でさえも寒いと思っていましたが、名寄は比較にならないほど寒かったです。
- ★名寄市についてまず雪を触ってみると、とてもさらさらとした「粉雪」であることに驚きました。私にとって雪は楽しいものですが、暮らしている人たちにとっては、楽しいことだけではないのだなと思いました。
- ★初めて訪れた名寄の地では様々な驚きや思い出ができました。
- ★私たちの経験は一生の宝物です。この交流をうまくいかせていけるような毎日を過ごしていきたいと思います。
- ★この交流で得たほかではできないような様々な体験は、これからの自分に大きな自信となると思います。
- ★行く前はとても緊張していて、みんなと仲良くできるのかな?などと、不安とドキドキで胸が詰まっていた。でもその気持ちは楽しいことだらけで、どかかへ吹き飛ばしてしまいました。
- ★あの三日間がとても短かったです。

保護者の声

- ★今回の経験はこれからの人生の糧になると信じます。事前学習を通して自分のテーマがはっきりしていたので、遊びに行った時とは違う充実感や達成感があったように感じました。

交流自治体中学生親善野球大会

中

実施期間:平成26年10月11日(土)~13日(月・祝)

■事業目的

杉並区と交流のある自治体の中学生との親善野球大会を行う。これまで交流を深めてきた台湾台北市、福島県南相馬市、北海道名寄市に加え平成26年度は静岡県賀茂郡南伊豆町が参加して、スポーツ交流事業を実施することにより、中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深める契機とする。

■事業概要

- 選抜選手選考会:7月13日(日)
- 結団式:7月24日(木)
- 練習会:7月24日(木)~9月27日(土) 7回
- 中学生交流夕食会:10月11日(土)
- 試合(全15試合):10月12日(日)、13日(月・祝)
- 杉並区からはオール杉並イーストとオール杉並ウエスの2チームが参加

杉並チームの試合結果

南伊豆	1	×	6	杉並E
名寄	3	×	4	杉並W
南相馬	2	×	1	杉並W
台湾大理	4	×	3	杉並W
台湾大理	3	×	2	杉並W
台湾長安	6	×	1	杉並E
名寄	0	×	2	杉並E
台湾長安	6	×	1	杉並W
台湾長安	5	×	0	杉並E

子どもの感想

- ★今回の事業を通して、自分の世界観が変わったと実感しています。
- ★今回の体験をしっかり今後の野球人生に活かしていきます。
- ★文化を超えたコミュニケーションを経験できたことが一番印象に残っています。ベンチ内での応援の仕方から喜びの表現、日本とは違うことを発見すると、同じ野球でも違う文化があるのだと感じました。
- ★オール杉並に参加し試合を通して得たことの一つは、感謝の気持ちを忘れずにということです。
- ★この親善野球大会でより質の高い野球を学ぶことができました。そしてなにより「いろんな人と交流をする」ということの大切さを学ぶことができました。
- ★この大会で学んだことを野球だけでなく、私生活にも活かして、これからもたくさんの人と交流したいと思います。
- ★一番の収穫は、野球に対する思いです。自分はミスを恐れ、おどおどしていましたが、みんなのプレーを見てると自分に足りていないものは、もっと野球を楽しみ堂々とプレーすることだと気付かされました。
- ★大きな夢ができました。その夢は今回の大会で出会えた仲間と、第100回夏の甲子園大会で再会することです。
- ★僕ははじめ、「オール杉並」とは野球が上手い人が集まって試合で勝つということが目的だと思っていました。しかし今は違います。「オール杉並」とは、「試合で勝つ事より仲間の大切さを知ってもらう」ということが目的だと僕は思います。



熱戦が繰り広げられた親善試合



試合後は互いの健闘を称えて握手

チャレンジ・アスリート

小 中

実施期間:平成27年1月17日(土)~3月21日(土・祝)

■事業目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、地域ぐるみで次世代のトップアスリートを目指す青少年を支援し、「夢に向かって自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子ども」を育成する。杉並区の子どもたちが広くスポーツに親しみ、スポーツへの夢を抱き、競技を極めオリンピック・パラリンピックを目指す可能性、スポーツトレーナー・スポーツボランティア等を目指す可能性



パラリンピック種目体験

など、スポーツを取り巻く多様な可能性に気付く機会を提供し、タレント発掘(選手育成)にとどまらないスポーツにとどまらない次世代育成事業を行う。

■事業概要

- 共通科目:1月17日(土)、18日(日)
- 選択科目:職場見学(1~3月)1人1科目以上受講
- 公開講座:2月11日(水・祝)



専門施設見学(フェンシング練習場)

子どもの感想

- ★先生のレッスンは楽しくて分かりやすいものばかりだったので、一生懸命取り組むことができました。走ることを楽しいと思えたので、早くなるよう頑張りたいです。
- ★オリンピック選手から、いろいろなことを教えてもらってすごく楽しかったです。
- ★一番印象に残っている練習は、バレーボールの朝日選手のアタックを受けたことです。
- ★参加して、将来、スポーツ選手関係のことをやりたいという目標ができました。
- ★大変なことがたくさんあるのに、前を向いてスポーツする姿に憧れを持ちました。
- ★体が不自由で大変なのに、走るのがとても速くて、すごいと思いました。
- ★私もたくさんのことを頑張っていきたいと思いました。

中学生海外留学

中

実施期間:平成26年8月20日(水)~9月1日(月)

■事業目的

杉並区の中学生を、オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州ウィロビー市に派遣し、生徒自らが設定した課題の解決に向けた学習を行うとともに、海外における生活や現地の人々との国際交流などの直接体験を通して、豊かな人間性を培い、国際社会において「夢に向かい、志をもって、自らの道を拓く」ために必要な資質の形成を目指す。

■事業概要

- 結団式:5/14(水)
- 事前学習会:5/28(水)、6/4(水)、6/18(水)、7/2(水)、7/16(水)、8/1(金)(全6回)
- 留学期間:8/20(水)~9/1(月)(13日間)
- 事後学習会:9/10(水)、10/8(水)、11/5(水)(全3回)
- 成果報告会:11/29(土)

子どもの感想

- ★英語が通じのかなど不安でいっぱいだったが、ホストファミリーと出会い、きれいな英語でなくても伝えようという気持ちがあれば、相手も分かってくれと実感した。留学したことで、もっと英語で話す力、聞く力をつけなくては行けないと強く思った。この経験はとても貴重で、私の世界観をガラリと変えるものであった。
- ★ホームステイでは、本当に温かい家庭に迎え入れていただき、とても幸せな時を過ごせたと同時に、ネイティブの英語を生で聞くことができ、とても良い経験ができた。また、外国人の考え方や食文化、休日の過ごし方、日常生活を体験でき、少し世界観が広がった気がした。



マッコーリー大学で



フィッシュマーケット

保護者の声

★言葉が通じない中で多くのことを一人で行うことにより、自分に自信を持つことができたように思う。

★日本語が全く通じない相手に自分の英語が通じる喜びが自信となり、将来再び留学したいという夢を持つようになった。

★オーストラリアの異文化に触れたことはもちろん、学習面やたくさんの大人・友達との関わりによって本人の内面が大きくなった。この経験で他校の良い仲間たちが出来た。

中学生小笠原自然体験交流

中

実施期間:平成27年3月23日(月)~29日(日)

■事業目的

世界自然遺産である小笠原の貴重な自然体験や自然に育まれた文化を通して、子どもたちの豊かな人間性を育む。また、自然体験を通じ、各学校・地域における環境保全活動の推進役となる世界的視野で持続可能な社会を考えることができる生徒を育成する。

■事業概要

- 結団式:11/6(木)
- 事前学習会:12/17(水)、1/26(月)、2/27(金)(全3回)
- 小笠原交流:3/23(月)~3/29(日)7日間
- 事後学習会:4/22(水)、5/25(月)、7/3(金)(全3回)
- 成果報告会:7/18(土)

子どもの感想

- ★小笠原では大自然の雄大さを感じながら、環境問題の深刻さも肌で感じる事ができました。そして、島民が島を守ろうとしている姿にも出会いました。私も体験したからこそ感じた自然を守りたいという強い思いをいつまでも忘れずに、自分の住む街杉並でも行動していきたいです。
- ★これからはこの自然体験交流で学んだ「自然にお邪魔している」、「自然環境を元に戻すことは大変だ」ということをしっかりと意識して生活していきたいです。
- ★杉並で生活している時には、たくさんの人々がいて、そこに自然が少しだけあるのが当然のように感じていました。しかし、小笠原に行ってみると、大自然の中に私たち人間が少しだけ場所を借りているのだ、ということを実感しました。
- ★ごみを拾う際に「誰かが捨てたゴミ」と考えるのではなく、「落ちているから拾う」という考え方を学びました。さらに、「小笠原だから拾う」ということではないということも学びました。なので、どこでもゴミが落ちていたら拾うという考え方を身につけ、ほかの人にも広げたいと思います。



東平アカガシラカラスバトサンクチュアリー



ウェザーステーション

次世代育成基金について

- 杉並区次世代育成基金は、多くの可能性を秘めた子どもたちが抱く、将来の「夢」につながるように、自然・文化・芸術・スポーツなど、様々な分野で貴重な体験や、異なる地域の人たちとの交流を通して、視野を広げ、将来の夢に向かって健やかに成長できる取組に活用されています。

平成26年度に次世代育成基金へいただいた寄附 **419件 10,654,563円**

- 1万円以上のご寄附をしていただいた方には、この基金を活用した体験・交流事業に参加した子どもたちの報告会等のご案内をさせていただきます。
また、事業に参加した子どもたちの声などを掲載した報告書なども随時お送りさせていただきます。

寄附の取り扱いについて

- 次世代育成基金への寄附金の税法上の取り扱いについては、次のとおりです。

〈**個人の場合**〉 杉並区に対する寄附金（「ふるさと寄附金」）として、2,000円を差し引いた額について、原則として所得税・個人住民税から全額が控除されます（限度額あり）。

〈**法人の場合**〉 寄附した当該事業年度において、限度額に関係なく全額を損金に算入することができます。

※寄附金控除に関する詳細や手続き方法について、所得税及び法人税については住所を管轄する税務署、個人住民税についてはお住まいの市区町村課税担当へお問い合わせください。

- ご寄附いただいた方（希望者のみ）のお名前は、広報すぎなみや区ホームページで公表いたします。

寄附のお申出・お問合せ先(担当窓口)

杉並区児童青少年課青少年係(受付時間 平日8:30~17:15)

TEL.3393-4760 FAX.3393-4714